

## 9 アフターサービスと保証について

### 注意

- 当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。
- \* 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
  - \* 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
  - \* 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

#### ●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後6年です。

#### ●保証について


この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証	取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。 ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。
------	---

### 安全に関するご注意

- 本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
- 本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

#### ★長年ご使用のクリーナーの点検を！

愛情点検 	このような症状はありませんか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スイッチを入れても時々運転しないことがある。</li> <li>● 運転中に異常な音や振動がある。</li> <li>● 本体が変形していたり、異常に熱い。</li> <li>● 焦げ臭い“におい”がする。</li> <li>● その他の異常がある。</li> </ul>	お願い 異常があれば ご使用を 即、中止!!	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
---	-----------------	---	---------------------------------	---

# Suiden

## スーパークリーナー

---

## SV-2001EG-8A

---

**本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。 必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。**

世界のブランド〈Suiden スイデン〉製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、本説明書を必ずお読みください。

		も く じ	
1	安全のために必ずお守りください……	1	12. タンクの着脱方法……
2	仕様……	4	8
3	各部の名称と付属品……	4	8
4	準備……	4	13. ゴミを捨てる……
	スイクリーン・シリーズ機種の組立て方法…	4	9
5	ご使用方法……	6	● 上手なご使用方法 ……
	1. 電源スイッチ ……	6	9
	2. 電源接続 ……	6	★ 液体を吸引するときのご注意 ……
	3. アース ……	6	10
	4. 本体とホースの接続 ……	6	6 保守点検……
	5. パイプやノズルの接続 ……	6	11
	6. 標準ホース ……	6	11
	7. 後輪キャスターの〈固定/自在〉切替え方法…	7	12
	8. ちりおとし装置……	7	7 安全のための点検のお願い ……
	9. フィルター……	7	12
	10. フロートの調整……	8	8 こんなときは（故障かな？と思ったら）……
	11. パイプとホースの清掃……	8	13
			9 アフターサービスと保証について ……
			15

本機は防爆構造ではありません

# 1 安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。  
ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。  
また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、警告・注意の2つに区分しています。  
しかし、注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。  
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

**警告：**取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

**注意：**取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

**注記：**警告・注意以外の情報を示します。

絵 表 示 の 例		△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。(左図は感電注意)
		記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描かれているものもあります。(左図は分解禁止)
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。(左図はアースを接地する)

## ●製品仕様への注意事項

注 意	
決められた製品仕様以外で使用しない。 * 漏電・感電・火災・水漏れなどの原因になります。	

## ●搬入・移動上の注意事項

注 意	
搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 * 落下・破損などによりケガの原因になります。	人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。 * 腰を痛める原因になります。

## ●試運転・運転の際の注意事項

警 告	
<ul style="list-style-type: none"> <li>定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。</li> <li>他の器具とコンセントを併用したり、電源回路の許容電流が合わないと、分岐コンセント部が異常発熱・発火することがあります。</li> </ul>	

## ●静電気の発生とその防止について

- ❖ 静電気の発生は、二つの物体の接触分離など力学的運動に伴い、本来電氣的に中性状態である物体上でプラスまたはマイナスのどちらか一方の極性電荷が他方よりも過剰となる現象です。
- ❖ クリーナーや集じん機の場合、粉じんを吸込むときに、その粉じんとホースまたはダクトの内面の接触・摩擦移動により、静電気がホースやダクトまたはクリーナー・集じん機本体、フィルターに蓄積される状態を言います。
- ❖ そのため、この蓄積された電荷がダクト内や本体内のフィルターなどからアースに対し放電状態で中和される際に周囲の可燃性の粉じんなどに引火し、いわゆる粉じん爆発を起こす要因になります。
- ❖ 静電気発生を極力少なくするため、本体およびダクトはアースに接続していただくと同時に、フィルターは帯電防止用フィルターをご使用ください。これは、高電圧になる前に大地に放電して障害を少なくするためです。
- ❖ 静電気は空気が乾燥するほど、また、微粉じんを高速で吸引するほど多く発生します。
- ❖ 物質の帯電序列の例を参考のため下記に表示しました。  
表中、二つの物質を摩擦または剥離したとき、上部の物質がプラスに帯電し、下部の物質がマイナスに帯電します。  
ホースやダクトまたはフィルターの材質と粉じんが接近したもののほど帯電は少なくなります。

### (3) 帯電序列の例

金属	繊維	天然物質	合成樹脂
(+)	(+)	(+)	(+)
鉛	羊毛	アスベスト	エポナイト
亜鉛	ナイロン	人毛・毛皮	ポリスチレン
アルミニウム	レーヨン	ガラス	ポリプロピレン
クロム	絹	雲母	ポリエチレン
鉄	木綿	木材	塩化ビニル
銅	麻	人の皮膚	ポリテトラフロロエチレン
ニッケル	ガラス繊維	紙	
金	アセテート	ゴム	
白金	ビニロン	セルロイド	
	ポリエステル	セロファン	
	アクリル		
	ポリ塩化ビニリテン		
(-)	(-)	(-)	(-)

## 8 こんなときは(故障かな?と思ったら)

症状	調べるところ	直し方
●モータが回転しない。	電源に接続されていますか?	電源プラグをコンセントに差し込み直します。
	電源のブレーカー(ヒューズ)が切れていませんか?	ブレーカーが切れた原因を解消して、(ヒューズを交換して)ください。
	断線していませんか?	断線部を補修するか、電源コードを交換してください。
●吸引しない。 ●発音が高くなった。	ゴミや液体がタンク一杯になっていませんか?	タンク内のゴミや液体を処理してください。
	モータのカーボンブラシが減っていませんか?	カーボンブラシを交換してください。 (15ページ参照)
	ホースや吸込口にゴミが詰まっていますか?	ゴミを取除いてください。
●吸引力が急に弱くなった。	クリーナー上部とタンクは完全に密閉していますか? 隙間ができていませんか?	クリーナー上部とタンクを正しく合わせて、ワンタッチレバーで確実に固定してください。
	主フィルターが目詰まりしていませんか? 補助フィルターが目詰まりしていませんか?	ちりおとし装置でフィルターのホコリを落としてください。汚れがひどい場合は、フィルターを水洗いしてください。 補助フィルターは水洗いしてください。
	内蔵モータに異常回転しているモータがありませんか? 100V機種:モータ2台 3相200V機種:モータ3台	お買い求めの販売店に故障のモータの交換、または点検をご依頼ください。

上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理をご依頼ください。

### ●危険防止のための注意事項

- ❖ 本機は正常なご使用方法で運転する場合、本機自体より事故を発生することはありません。
- ❖ しかし吸引する粉じんの種類や周囲の雰囲気により、種々の火種、静電気の放電による火花などにより、ガス爆発や粉じん爆発を起こす場合があります。
- ❖ 引火性、爆発性、腐食性ガスの雰囲気内および爆発性粉じん、可燃性粉じんが浮遊、または堆積する可能性のある危険場所では絶対にご使用にならないようご注意ください。
- ❖ 参考のため、爆発性ガスおよび粉じんの一部を表記します。


#### (1) 主な爆発性ガスの種類

爆発等級	発火度					
	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6
1	アセトン、トルエン アンモニア、プロパン 一酸化炭素、ベンゼン エタン、メタノール、酢酸 メタン、酢酸エチル	エタノール 酢酸イソアミル 1-ブタノール ブタン 無水酢酸	ガソリン ヘキサン	アセトアルデヒド エチルエーテル		亜硝酸エチル
2	石炭ガス	エチレン エチレンオキシド	イソプレン			
3	水性ガス 水素	アセチレン			二硫化炭素	硝酸エチル

#### (2) 主な爆発性および可燃性粉じんの種類

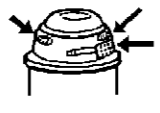
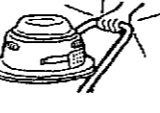


爆発性粉じん	可燃性粉じん	
	導電性のもの	非導電性のもの
マグネシウム、アルミニウム アルミニウムブロンズ アルミニウム(含脂)	亜鉛、チタン、コークス カーボンブラック、鉄 石炭	小麦粉、とうもろこし、砂糖 ゴム、染料、ポリエチレン フェノール樹脂、ココア リグニン、米ぬか、硫黄

## 警告

アースを確実に取付け、漏電ブレーカー(別売市販品)を使用する。 *故障や漏電、静電気が発生したときに感電する恐れがあります。	濡れた手で、差し込みプラグやスイッチ、配線などの電気まわりに触らない。 *感電やケガの恐れがあります。
灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものを吸引したり、それらの近くで使用しない。 *爆発したり、火災の原因になります。	アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・化学物質などの爆発性粉じん、ガス・蒸気などを吸引したり、それらの近くや雰囲気内で使用しない。 *爆発したり、火災の原因になります。
ダイオキシン類などの有害物質やアスベスト(石綿)類を含んだ粉じんなど、人体に有害なものを吸引しない。 *環境汚染・健康障害につながる危険性があります。	水や油などをかけない。 *火災や感電の原因になります。
電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。 *プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。	

## 注意

動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に必ず点検修理を依頼する。 *感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物をのせたり、挟み込まない。 *電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。
電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 *感電やショートして発火することがあります。	電源コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 *コードが発熱して火災の恐れがあります。 必ず伸ばした状態で使用してください。
電源プラグにピンやゴミを付着させない。 *感電やショートして発火することがあります。	延長コードは使用しない。 *コードが発熱して火災の危険があります。
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 *ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 *感電やショートして発火することがあります。
温度の高い(40℃を越える)場所で使用しない。 *火災の原因になります。 使用雰囲気温度範囲は0℃~40℃です。	湿度の高い場所で使用しない。 *感電・火災・故障の原因になります。雰囲気湿度80%以下でご使用ください。
屋外の雨水のかかる場所で使用しない。 *本機は屋内仕様品です。 絶縁劣化による感電・漏電・火災・故障の原因になります。	火気に近づけない。 *本機の変形により、ショートして発火することがあります。

注 意	
運転中に吸込み口や吸気口・排気口をふさが ない。 * モーターの温度上昇により事故が発生する可 能性があります。	パイプやホースに吸引物などが詰まったり、 フロートが上がって吸引が止まったときは、 すぐにスイッチを切る。 * モーターの温度上昇により事故が発生する可 能性があります。
吸引中は、モーター冷却用吸気口 や排気口をふさがない。 * モーター焼損や故障、事故など の原因になります。 本体上部に電源コードや布な どを巻いたり、かぶせたまま使用しない でください。 	電源コードやホースを引っ張 って本機を移動させない。 * 電源コードやホースを引っ 張ると、破損による火災・ 感電・汚染事故の原因にな ります。 押し手を持って移動してください。 
横倒しでの使用は絶対にしない。 * 液体などが吹きこぼれる恐れがあります。	液体の吸引中・吸引後は、本機を横に倒さな い。 * モーター焼損や故障、事故の原因になります。
シンナーなどの溶剤、揮発性・爆発性ガス・ 粉じん、火のついたタバコの吸いながら、熱を 持った物質などは吸引しない。 * 爆発・火災、フィルター焼損の原因になります。	海水など腐食性のある液体や 粉体は吸引しない。 * モーター焼損や故障、事故の 原因になります。 
ホースを踏んだり、急激に引っ張らない。 * ホース破損による汚損事故の原因になりま す。	吸込口に手や指を入れない。 * ケガの原因になります。 

## ●保守・点検の際の注意事項

注 意	
修理技術者以外の方は、分解したり、修理や 改造を絶対にしない。 * 発火したり異常動作をすることがあります。	お手入れの際は、必ず電源ブ ラグをコンセントから抜く。 * 感電やケガをする恐れがあ ります。
フィルターの洗浄にシンナー液を使用する ときは、火気を近づけない。 * 火災や事故の危険性があります。	フィルターの洗浄にシンナー液を使用する ときは、換気を充分にする。 * シンナー中毒になる危険性があります。

## 使用電源のご注意

- 指定電源でご使用ください。(別項の仕様表で電源をご確認ください)
- 定格電圧(単相220V)以外の電源でのご使用は、絶対にしないでください。
- 電流仕様は10A(アンペア)、です。  
電源側の容量をお確かめください。特に容量10Aが必要なため、専用回路をご採用ください。  
他の器具と併用すると、ブレーカーが落ちる可能性があります。

## 2. お手入れ

ホースやクリーナー外装が汚れたら、中性洗剤のうすめ液に浸したぞうきんやウエスを固く絞って拭いてくださ  
い。

なお、洗剤によっては樹脂部に使用できないものもありますので、ご使用洗剤の注意ラベルをご確認ください。

樹脂に使用できる洗剤でも、化学反応によりひび割れの原因になる場合がありますので、水拭きをして洗剤分を  
落としてください。

**注記** 石油、ベンジン、アルコール、シンナー類は、ご使用にならないでください。

## 7 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、下記項目を点検してください。不具合が見つかったときは、速やかに処置してください。

点検項目	処置
電源コードは傷んだり、変形していませんか？	新しい電源コードに交換してください。
差込みプラグに変形やガタはありませんか？	新しい電源コードもしくはプラグに交換してください。
アースクリップは、ガタなどがなく正常に機能して いますか？	新しい電源コードに交換してください。
スイッチ保護ゴムに破れはありませんか？	新しいスイッチ保護ゴムに交換してください。
ホースは変形したり破れていませんか？	新しいホースに交換してください。
ホース・直管パイプにゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
フィルターは正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。
フィルターが破れていませんか？	新しいフィルターに交換してください。
フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターを掃除してください。
フロートは、正しくセットされていますか？	フロートを正しくセットして、ローレットナットを 締め直してください。
ローレットナットはゆるんでいませんか？	締め直してください。
ワンタッチレバーは正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
ワンタッチレバーは曲がったりひずんでいませんか？	交換してください。
押し手固定ボルトはゆるんでいませんか？	締め直してください。
タンク固定ボルトはゆるんでいませんか？	締め直してください。
タンクは変形していませんか？	タンクを交換してください。
タンク内にゴミや液体がたまっていますか？	ゴミや液体を処理してください。
クリーナー上部は正しく装着していますか？	正しくセットしてください。
キャスターが磨耗したり変形していませんか？	キャスターを交換してください
モーター回転音に異常はありませんか？	修理技術者、販売店に連絡してください。

## 6 保守点検

安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

### 1. フィルターの交換手順

- ① フィルターが汚れたら、クリーナーから取外して水洗いをしてください。水洗いをした後、クリーナーに再び取付けてから数分間のカラ運転をすると、フィルターが乾き、使用可能な状態になります。
- ② フィルターの汚れがひどい場合は、クリーナーから取外して歯ブラシなどでフィルター表面に付着したゴミや汚れを削除した後、洗い油・灯油で洗浄し、その後にシンナー液で再度洗浄してください。フィルターが完全に乾いてからクリーナーに取付けます。

#### (1) フィルターの取外し方

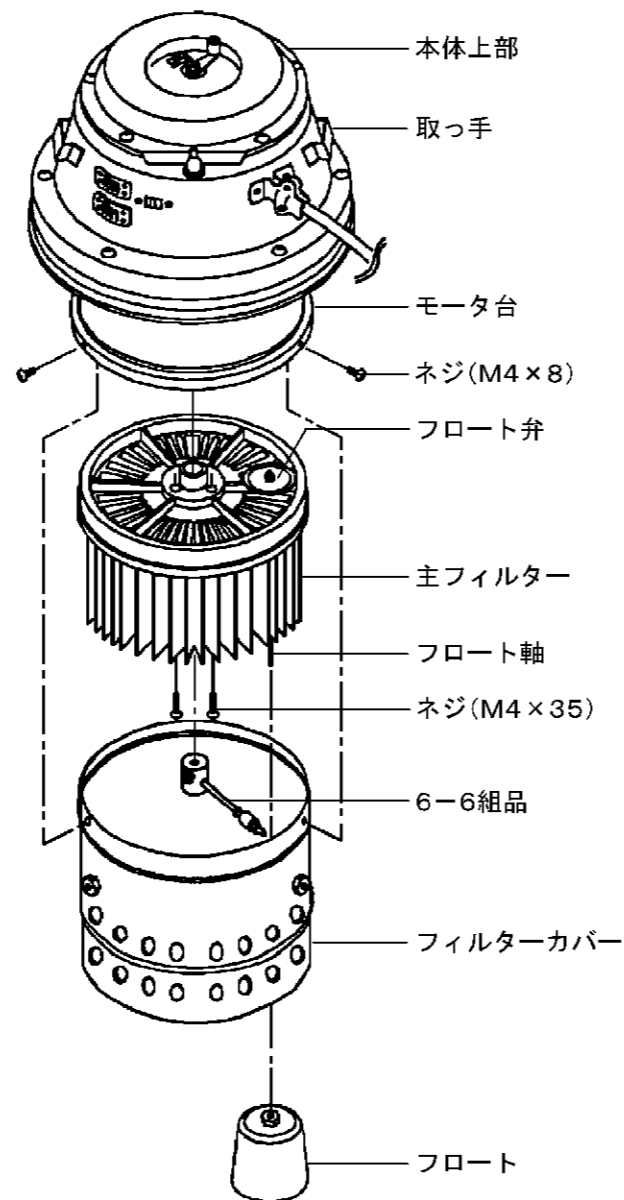
- ① ワンタッチレバーを外して取っ手を握り、本体上部を持ち上げて、タンクから本体上部を抜きます。
- ② フロート部が上向きになるように本体上部を床の上などに置いてください。
- ③ フロートをフロート軸から外してください。
- ④ ネジ(M4) 3か所を外し、フィルターカバーをモータ台から外します。
- ⑤ M6六角ボルトをゆるめ、6-6組品を外します。
- ⑥ フィルター中央部のネジ(M4) 3か所をゆるめてください。
- ⑦ フィルターをモータ台から抜き取ってください。

#### (2) フィルターの取付け方

- ① フィルターをモータ台に組付けてください。

**注記** フロート弁とモータ台の空気穴の位置を合わせてください。  
\*位置がずれていると、フロートの機能が妨げられて、オーバーフローの原因になります。

- ② 上記⑥～①の手順で組立ててください。



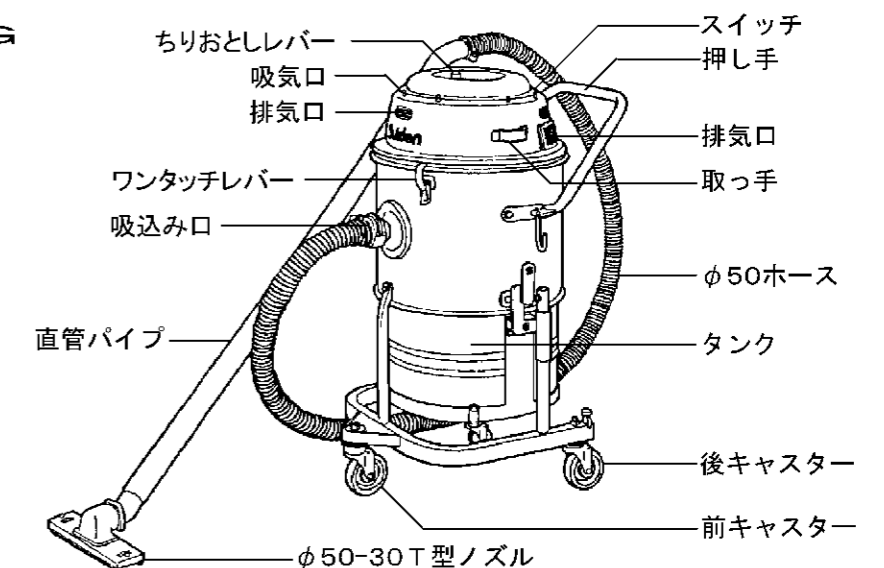
## 2 仕様

愛称	スイクリーン EG タンク
品番	SV-2001EG-8A
電源	単相220V
消費電力	2200W
電流	10A
最大風量	4.8 m <sup>3</sup> /min
最大真空圧	21.0kPa
フィルター面積	2.3m <sup>2</sup>
タンク容量	40L
ホース	径φ50×長さ3m
電源コード	長さ20m 3Pプラグ付き
本体寸法	幅580×奥行き825×高さ890mm
本体質量	51kg

**注記** ①本機種は、許容電流15A以上の電源回路が必要です。使用される電源回路をご確認ください。

## 3 各部の名称と付属品

■スイクリーンEG  
●SV-2001EG-8A

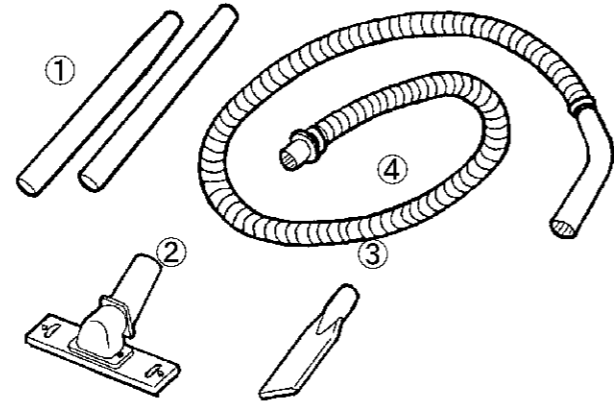


## 付属品

**注記** ①付属品はタンク内に収納している場合もありますので、数量ご確認の際は、タンク内部もお調べください。

### 全機種に共通付属品

- ①直管パイプ (φ50) ……2本
- ②φ50-30T型ノズル……1個
- ③φ50スキマノズル……1個
- ④φ50ホース (長さ3m) ……1本



## 4 準備

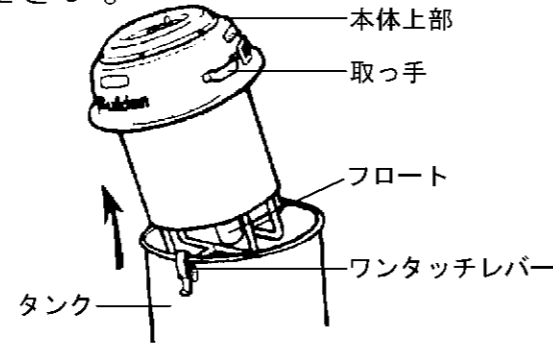
(注意)組立て方法は、スイクリーン・シリーズとドラムクリーンでは異なります。

### ●スイクリーン・シリーズ機種の組立て方法

ご使用の前に、組立てて準備をしてください。

#### 1. 本体上部をタンクから抜きます。

ワンタッチレバーを外して、図のように取っ手を握り、上へ持ち上げてタンクから本体上部を抜きます。抜いた本体上部を床に置くときは、フロート部を傷つけないように静かにそっと置いてください。



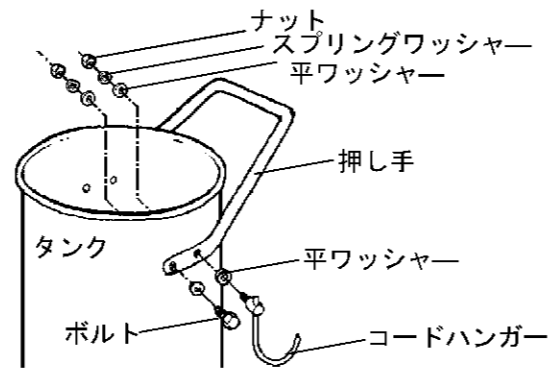
#### 2. タンクに押し手をセットします。

①押し手をセットする位置に取付いているボルトと平ワッシャー・スプリングワッシャー・ナットを先に外しておきます。

そのうちの1か所に、電源コードをまとめて吊るするためのコードハンガーが付いています。

②押し手を右図のようにセットして、外しておいたボルトなどで4か所とも確実に固定します。

このとき、そのうちの1か所にコードハンガー金具を取付けるのを忘れないようにしてください。

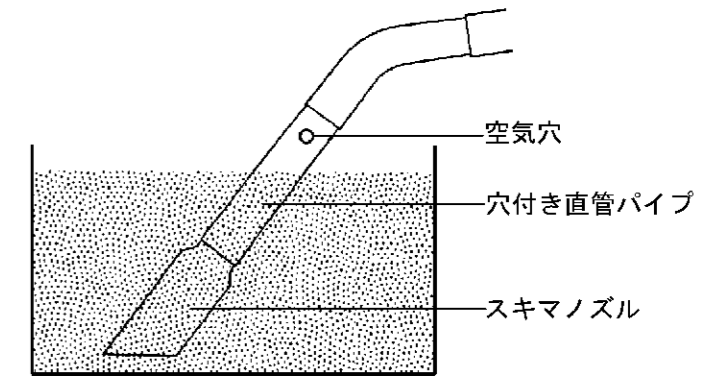


## ★液体を吸引するときのご注意

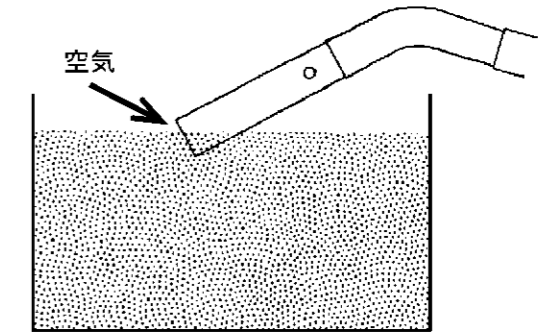
本機は、粉体と液体の両方を吸引できる構造になっていますが、取扱いを誤るとオーバーフロー（吸引した液体が噴出）する恐れがあります。液体を吸引するときは、下記の方法で作業をしてください。

### ○正しい使い方

穴付き直管パイプとスキマノズルを接続してご使用ください。

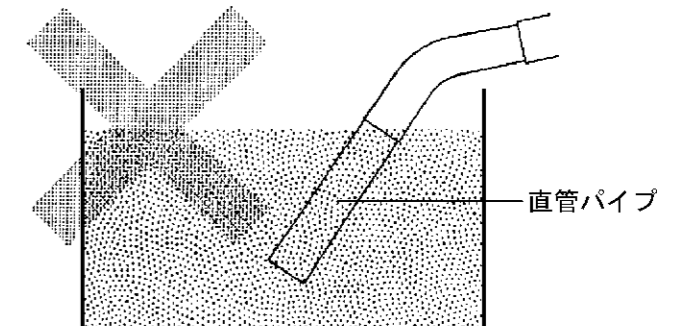


ホースや直管パイプで直接吸引するときは、空気も吸引できるように、ホースや直管パイプの先端を右図のように液体表面から少し出してご使用ください。



### ×誤った使い方

液体の中にホースや直管パイプを差込んで吸引しないでください。



## 13. ゴミを捨てる

- ① 清掃作業後は、タンク内のゴミを必ず捨ててください。  
タンク内にゴミをためたままにすると、ゴミがタンク内で固形化して付着したり、ゴミが腐敗して悪臭を発生する場合があります。
- ② タンクを乱暴に扱おうと、タンクが変形し、本体に装着したときに真空度が低くなり性能が著しく低下する場合があります。タンクを蹴飛ばしたり、投げたりしないでください。
- ③ 産業廃棄物は、条例等の規定に則り処理してください。

## ●上手なご使用方法

### 注意

補助フィルターを取外した状態では、液体の吸引は絶対にしない。  
\*故障や排気口からの液体噴出などを原因とする事故の原因になります。

補助フィルターは、必ず目で確認しながら取外す。  
\*手探りで取外すと、手や指にケガをする恐れがあります。

### 注記

- ①吸引する粉体の種類によって、直管パイプ、手元パイプ、ホースに静電気が発生することがありますが、漏電ではありません。対策としてゴム手袋をご使用いただくか、別売品の静電防止バンドをご利用ください。
- ②補助フィルターが目詰まりがひどい場合は、クリーナーから取外して水洗いしてください。補助フィルターは、十分に乾かしてから元の位置に取付けてください。

## ★粉体または液体の専用機としての使用が効率的です。

本機は、粉体と液体の両方を連続して吸引できるですが、粉体専用機または液体専用機として使い分けた方が、フィルターが目詰まりも少なく、本機の性能もより効率的に発揮でき、お手入れも簡単です。

《液体専用機》として使用する

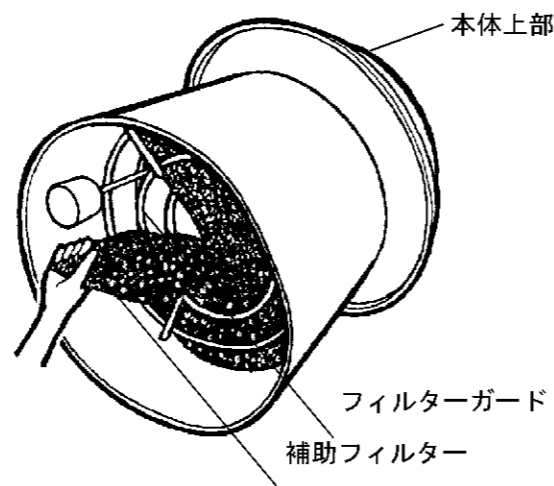
- 出荷状態でご使用ください。

《粉体専用機》として使用する

- 補助フィルターを取外して使用すると、より効率的な吸引効果が期待できます。

### ■補助フィルターの取外し方

- ① 本体上部をタンクより取外します。  
(11・12ページ参照)
- ② 本体上部を横向きに置いてください。
- ③ フィルターガードの隙間から、補助フィルターを破らないように手繰りだします。

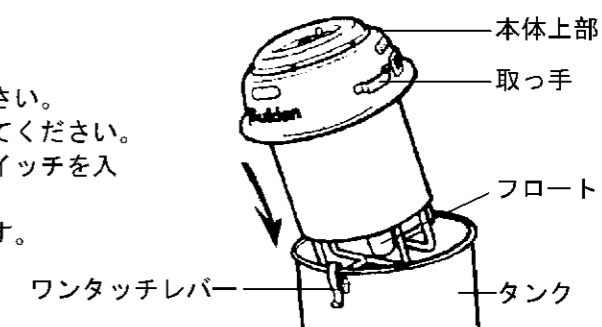


### 注記

ご使用のときは、必ず補助フィルターを元の位置に取付けてからご使用ください。

### 3. 本体上部を再セットします。

初めに外した本体上部をタンクにセットします。フロート部を傷つけないように十分に注意してください。本体上部がタンクの中心に位置するようにセットしてください。タンクと本体上部がズレて隙間ができていると、スイッチを入れても吸引しません。最後にワンタッチレバーで固定して、組立て完了です。



## 5 ご使用方法

安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

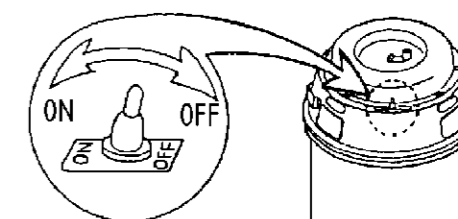
### 注記

浮遊粉じんの多い場所では使用しないでください。  
※粉じんがモータに入り込み、モータや電装部が故障する恐れがあります。

## 1. 電源スイッチ

### 仕様

SV-2001EG-8A	250V. 16A スナップスイッチ
--------------	-----------------------



## 2. 電源接続

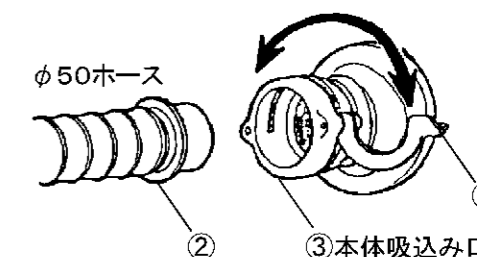
- 本種の電流値は10Aです。専用回路をご採用ください。

## 3. アース

- 単相220V機種……緑色被覆線がアース線です。

## 4. 本体とホースの接続

図の①部を持ち上げてから、②のホースを③の吸込み口に押し込み、①を下げて②と③の縁を押しえ込むようにセットします。



## 5. パイプやノズルの接続

吸引対象物に応じて、延長パイプと吸引ノズルを選択してください。

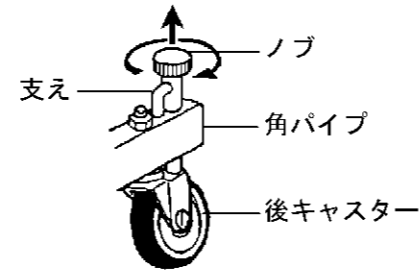
## 6. 標準ホース

ホースはφ50のものが標準付属品です。

## 7. 後輪自在キャスターの《固定⇔自在》切替え方法

後輪自在キャスターは《固定⇔自在》の切替えができますので、ご使用方法に応じて切替えてください。

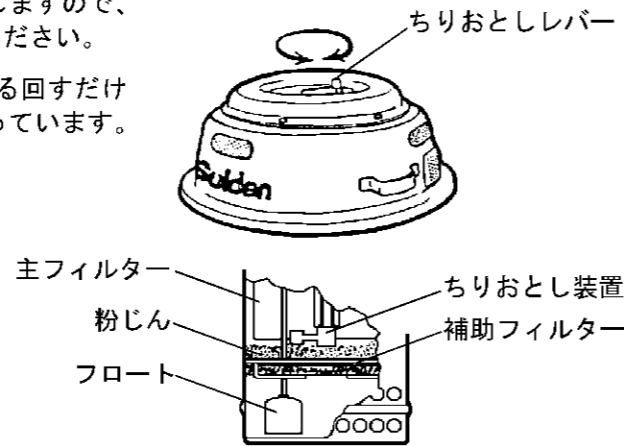
- 自在キャスターとして使用する場合  
ノブを持ち上げて、支えを角パイプの上に置きます。
- 固定キャスターとして使用する場合  
ノブを持ち上げて、支えが角パイプの上にのらないようにします。



## 8. ちりおとし装置

- ① フィルターにゴミが付着すると、吸引能力が低下しますので、掃除作業の前後にフィルターのちりおとしをしてください。
- ② 本体上部のちりおとしレバーを3回～5回くるくる回すだけで、主フィルターのちりおとしが出来るようになっています。
- ③ 補助フィルターを装着した状態で、粉じんを吸うと、主フィルターと補助フィルターの上に粉じんがたまり、ちりおとしレバーを回してもタンクに粉じんは落ちません。補助フィルターを外してちりおとしをしてください。

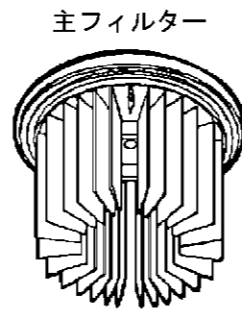
※補助フィルターの着脱方法は、13ページの「上手なご使用方法」の項をご参照ください。



## 9. フィルター

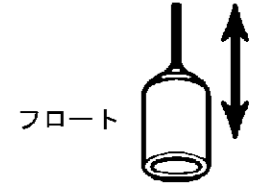
- 注記**
- ① フィルターが濡れているときや、湿っているときは、ゴミを吸わせないでください。  
※フィルター表面にゴミが付着して、吸引能力が大幅に低下する場合があります。
  - ② フィルターの着脱方法は、16ページ「フィルターの交換手順」の項をご参照ください。

- ① フィルターは、水洗いができます。  
フィルターが目詰まりしたら、クリーナーから取外して水洗いをしてください。水洗いをした後、クリーナーに再び取付けてから数分間のカラ運転をすると、フィルターが乾き、使用可能な状態になります。
- ② フィルターの目詰まりがひどい場合は、クリーナーから取外して歯ブラシなどでフィルター表面に付着したゴミや汚れを取除いた後、洗い油・灯油で洗浄し、その後にシンナー液で再度洗浄してください。  
フィルターが完全に乾いてからクリーナーに取付けます。
- ③ フィルターが湿っているときは、排気口から水滴（油滴）が霧状態で出る場合があります。そのときは、次のような処置をしてください。
  - 水滴が出たとき……何も吸引させないで数分間のカラ運転を行ってフィルターを乾燥させてください。
  - 油滴が出たとき……フィルターを取外し、洗い油などで洗った後、シンナー液で再度洗浄してください。洗浄後、充分乾燥させてから、クリーナーに装着してください。



## 10. フロートの調整

- ① タンク内に一定以上の液体がたまると、オーバーフローを防止するためにフロートが上がり、吸引機能を停止します。このとき、吸引機能は停止しますが、モータは回転していますので、スイッチを《切》にしてください。
- ② タンク内の液体を捨ててタンク内を空にすると、再び吸引できるようになります。
- ③ フロートが上がっていると吸引しませんので、ときどき上下に動かして点検してください。フロートやフロート軸などを曲げたり破損しないように、ご注意ください。



## 11. パイプとホースの清掃

パイプやホースの内側に吸引物が付着して、コレステロールのようにたまり吸引断面積が小さくなって、吸引能力が著しく低下する場合がありますので、定期的に、パイプやホース内部の清掃をしてください。

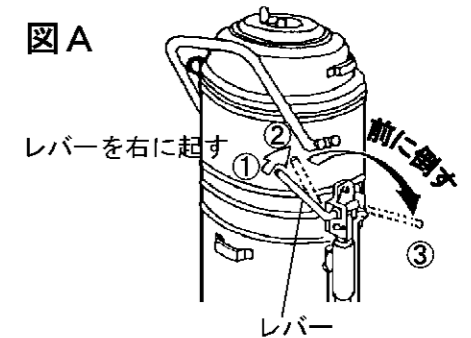
## 12. タンクの着脱方法

### スクリーンEGタンクの着脱方法

#### ■タンクを外すとき

- ① レバーを右に起こし、垂直にしてゆっくりと前方へ倒します。（図Aの①→②→③の順序です）
- ② タンクの車輪が床に届ているのを確認してから、タンクの取っ手を持ち、ゆっくりとタンクを引き出します。

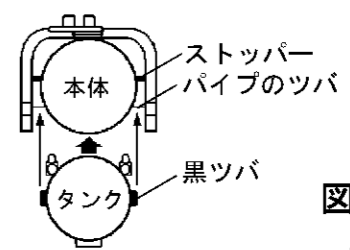
図A



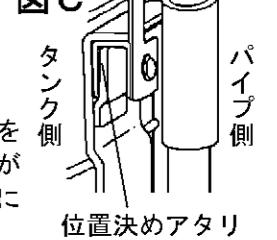
#### ■タンクを装着するとき

- ① 袋アタッチメントをタンクに装着します。（7ページ参照）
- ② レバーが図Aのように前に倒した状態（③の位置）になっていることを確認してください。
- ③ タンクの取っ手が本体の後方にくるようにして、タンクを押し込みます。（図B参照）  
このとき、タンクの黒ツバが本体パイプのツバと図Cのように組合わさっていることを確認の上、本体の真下にタンクがくるように、ストッパーに当たるまで押し込んでください。
- ④ レバーを握り、軽く右側（本体外側）に押すようにして、静かにゆっくりとレバーを持ち上げて図Aの②の位置まで引きます。
- ⑤ タンクが確実に本体に装着されたことを確認してからレバーを左側（本体の内側、図A①の位置）に倒すとロックされます。

図B



図C



パイプ側のツバをタンクの黒ツバがくわえ込むようにセットします。